

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者：大崎

会議名： 平成 30 年度 第 1 回小津学区まるごと活性化プランCプロジェクト会議

日時：平成 30 年 4 月 27 日（金）午後 7 時 30 分から午後 8 時まで

場所：小津会館 1 階 会議室

出席者：学区長、三品部会長、仲村副部会長、推進員、川那辺館長、大崎主事

議題

1. 正副部会長の選出について
2. 役員の所属分科会および今年度の取り組みについて

会議要旨

内容

1. 正副部会長の選出

○自治会長会へ意見や報告を挙げてもらうことを想定し、自治会長にお願いしたいことを依頼する
(事務局)

→平成 29 年度の正副部会長の担当自治会と、まるごと活性化プランのこれまでの経緯を把握していることを考慮し、部会長：森川原自治会長 三品 正一氏、副部会長：金森山柿自治会長 仲村 直美氏に決定

2. 協議事項

(1) 役員の所属分科会について

○①季節を楽しむ分科会 ②宝探し・歴史分科会 ③写真・フォトコンテスト分科会の概要を説明し希望を聞く（事務局）

→この場で決めることは難しいので第 2 回の部会において決めることとなる

(1) 今年度の取り組みについて

○まるごと活性化事業（ハード事業）において 200 万円程度の予算がついており、昨年度完成した「ウォーキングマップ」と「小津たからもの手帳」を活用しながら、そのハード事業をどういった形で進めていくのかを決めていく必要があることを伝える（事務局）

→昨年度の協議の中ではウォーキングマップをもとに看板を作成し、各自治会館や今年度完成予定の新守山川遊歩道・自転車道沿いに設置する案や、同遊歩道・自転車道沿いに休んでもらう為のベンチを設置する案が出ていたという経緯の説明

→それに対し、そもそも看板が必要であるのかとの意見や、維持・管理方法についてはどうするのかとの意見が出る

→金森自治会の事例をもとに、過去に設置した看板が特に管理等は行っていないにも関わらず 10 年以上経過した現在でもしっかり立っていることから、わずらわしい管理等はおそらく発生しないことの説明（川那辺館長）

⇒以上の協議から、各分科会の所属の決定と、ハード事業をどう進めていくのかの詳細の詰めを次回以降の部会において決めていくということを確認し、第1回部会は終了。

※看板・ベンチの作成にかかる金額等のデータを次回までに事務局で収集しておく。

決定事項	・正副部会長 部会長：森川原自治会長 三品 正一氏、 副部会長：金森山柿自治会長 仲村 直美氏 ・次回会議 5月31日（木）19時30分より
次回以降について	・各所属分科会を決定する ・ハード事業の詳細を協議する